

「九州の自立を考える会」広域行政セミナー

12月2日、本県議会議員をはじめ九州の政財界の有志を会員とする「九州の自立を考える会」(会長: 藏内勇夫議員)が福岡市内で第15回広域行政セミナーを開催し、在福岡米国領事館 首席領事のジョン・C・テイラー氏が「日米経済協力と九州」とのテーマで講演されました。

テイラー氏は、まず、世界の面積及び人口で半分以上、世界貿易の3分の2を占め、その重要性が日々増しているインド太平洋地域における米国の「自由で開かれたインド太平洋」戦略を話題とし、同地域では巨額の新規インフラを必要としているが、その投資は、効率的かつ持続的な成長発展と社会発展に寄与する(近江商人がいう)「三方よし」のものでなければならず、日米の投資であればそれが実現可能であるが、一方、中国の一带一路構想には、主権侵害、透明性の欠如、債務の罠、地元利害への配慮欠如、環境汚染、腐敗の助長等の問題点があることを一般には知られていない多くの事例を挙げて詳しく説明されました。大変興味深い内容で、テイラー氏の「平和で安定した世界を実現するためには、新興国とともに、共通の利益と価値観を前進させる日米のパートナーシップの重要性がかつてないほど高まっている」との言葉に会場は大いに賛同していました。また、話題は、日本の農産物や海産物の輸出競争力が増進し、その多くは九州からであること、熊本や大分産の大麦から作られた青汁や焼酎、福岡産の太秋柿が米国で販売されていること、九州からの和牛の輸入が大変増えていることや九州、特に福岡を拠点とした会社で、将来有望なスタートアップ企業が次々と登場していること等の紹介に及び、九州の産業や起業家への期待感を示されました。



最後に、米国のスポーツ産業についても紹介があり、日本では想像できないほど(5,200億ドル)のビッグビジネスで、大学スポーツでさえ日本のスポーツ産業全体の5倍の規模であること等、その実情や人気の秘密等についてもお話いただきました。



ラグビーワールドカップ2019™日本大会に沸いた!

9月20日から44日間にわたり熱戦が繰り広げられた、アジア初のラグビーワールドカップ2019™日本大会は、福岡でも予選3試合が開催されファンゾーンやパブリックビューイングなど県内全体が大きな盛り上がりを見せ、初の8強入りを果たし決勝リーグまで勝ち進んだ日本代表選手へは多くの賞賛の聲が寄せられています。

このような中、ラグビーワールドカップ2019™日本大会 福岡開催に携わった方々に感謝を伝え、今後の福岡のラグビーをはじめとするスポーツの振興や機運をさらに醸成していく契機とするため、「ラグビーワールドカップ2019™日本大会 福岡開催記念イベント〜そして、次なる感動へ〜」が11月24日に福岡市内で開催され、栗原渉議長、原中誠志副議長をはじめ、各会派の代表者が参加しました。

栗原議長は、大会を支えて頂いた関係者の皆様に感謝申し上げるとともに「スポーツは生活、社会の中で、人々に感動を与えられる数少ない存在です。県議会としても、これからラグビーの振興はもとより、スポーツの振興に全力で取り組んでいく所存です。今日は、『ワン・チーム』となった福岡県がスポーツの振興に取り組む節目になると確信しています」と挨拶しました。

イベントでは、ラグビーチームに所属する子どもたちによる未来に向けた宣言や、福岡堅樹選手、ウィリアム・トゥポウ選手を交えたトークショーが行われ、大いに盛り上がりました。

このほか、県庁ロビーでは、福岡ゆかりの選手(福岡堅樹選手、流大選手、ウィリアム・トゥポウ選手)を招いての出場報告会も開催され、感謝状や花束が贈呈されました。



ファンゾーン(博多駅前)



記念イベント

選手への質問コーナーでは小学生からの質問に丁寧な答えや、今後の抱負などの力強い言葉が述べられ、福岡選手の出身校である福岡高校ラグビー部員による部歌斉唱など、多くの人が選手を身近に感じる機会となりました。

県議会では、今年度「スポーツ立県調査特別委員会」を立ち上げ、本県のスポーツ振興や国際スポーツの誘致、開催、スポーツによる県民の健康増進などの諸調査を行い、東京オリンピック・パラリンピックでも、事前キャンプの受け入れが行われるなど、県内各地域の取り組みを支援してまいります。



県庁ロビー報告会(福岡堅樹選手を囲んで)

米国ハワイ州議会友好訪問

1月13日から17日まで5日間の日程で、ハワイ州議会からの招へいにより、栗原渉議長を団長とするハワイ州議会友好訪問団が、米国ハワイ州を訪問しました。

本県議会とハワイ州議会は、昭和57年に国際友好親善促進の盟約を締結して以来友好交流を続けており、1月14日にデービッド・イゲハワイ州知事や上院・下院議長を表敬訪問、1月15日に開催されたハワイ州議会の上院及び下院の開会式では、訪問団が来賓として紹介され、長年にわたる両県州の友好交流に対し議場からは温かい拍手が送られました。

また、長年の友好に感謝の意を表してイゲハワイ州知事主催のレセプションが催され、栗原議長は「福岡県議会といたしましても、今後とも、福岡県とハワイ州の経済や文化がさらに発展していきますよう、交流を充実させていきたいと思っております」と挨拶しました。

このほか、ハワイ福岡県人会との懇談会では、ジョージ・アリヨシ元州知事をはじめ、駐ホノルル伊藤康一総領事にもご出席いただき、友好交流の促進に向け、有意義な時間となりました。



ハワイ州政府庁舎